

世界遺産学習だより

大田市教育委員会石見銀山課

(世界遺産学習担当)

Tel 0854-82-1600(内線 338)

E-mail isan-gakushu@iwamigin.jp

大規模校と小規模校の現地学習～一中と三中の例から

9月の現地学習は市内の5校で実施。その中から大規模校と小規模校の例をあげ、現地学習の様子を紹介します。それぞれ長所・短所があり、学校ごとに工夫をこらして学習を進めています。

大田一中～7つのテーマで班別行動

3年生143名が参加して、9月20日に行われました。事前学習で興味をもった7つのテーマを掲げ、11班に分かれて行動。テーマは、「鉱夫の生活」、「大久保長安」、「製錬技術」、「毛利元就」、「石見銀と世界のかかわり」、「熊谷家」、「銀山発見伝説」。班に一人ずつガイドがつき、関連した場所を訪問しました。

筆者は、「石見銀と世界とのかかわり」グループに同行。16世紀から17世紀初頭、石見銀が決済通貨として、東西の経済文化交流に果たした役割を学びました。

まず世界遺産センターを訪問。入口の展示がこのグループのテーマにぴったりでした。大きな世界地図を使って、大航海時代を背景にしたポルトガルやスペインのアジア進出、中国や東南アジアなどの生糸や香辛料と日本銀の流れについてガイドからじっくり説明を受けました。その後石見銀の大量生産を可能にした灰吹き法の実際を見学、江戸初期の本谷を復原した模型では、多数の人々が立ち働き大量の銀を生産する様子を見ました。

遺産センターから徒歩で町並みへ移動し、石見銀山資料館を訪問。ポルトガルや中国の銀製品・貨幣などを見ました。現地見学するには難しいテーマでした。



大航海時代の世界地図の前で説明を受ける（遺産センター）

大田三中～遺産を守り伝える方法を考える

大田三中は世界遺産のおひざ元にあります。参加者は、1年生の3名（全員）。現地学習は9月25・26日の二日間行われました。

初日は、銀山課職員による事前学習で学んだことを現地で再確認。石見銀山の歴史や現状に理解を深めました。

まず山頂付近にある石銀地区に上がり、初期の鉱山町跡を見学。本谷を下り、釜屋間歩を経て大久保間歩に入坑。最後に世界遺産センターでまとめをしました。

二日目は、大森・銀山地区の3つの神社（豊栄神社、佐毘売山神社、井戸神社）と学校の隣にある水上神社を訪問。神社を維持・管理をしている方々のお話を聞く。

豊栄神社と佐毘売山神社は、社殿の建築後150年から200年が経過し、修理もされず傷みが激しい。それに対して井戸神社と水上神社は、境内も建物もとてもきれいでした。その違いはなんだろう、どうしたら傷んだ建物を修理をして次代にバトンタッチをしていけるのだろうか。このことを考えてもらうのが課題でした。

子どもたちは、説明して下さった方々に、さまざまな質問をしながら、考えを巡らせていました。世界遺産を守っていくことの大変さを痛感したことでしょう。



管理をしている地域の方の話を聞く（豊栄神社）

校長会と石見銀山課、石見銀山協働会議で意見交換

3者による意見交換会は9月27日に開催。校長会から銀山学習についてのアンケート調査結果の報告があり、その後は石見銀山基金の活用方法について、議論が集中しました。

学校側から、事務量の軽減、適用範囲の拡大、世界遺産センターでの体験学習の再対象化、などの要望が出されました。協働会議側からは認定事業の募集期間の自由化（昨年度は前年11月末締め切り）、公開審査の省略など、学校側の負担軽減の方針が表明されました。

世界遺産地区以外での地域学習であっても銀山とのつながりで実施されるものについては対象とする方向で検

討する、との回答でした。正式には、協働会議から配布予定の新しい募集要項をご覧ください。



熱心に討議する参加者(写真:大森小鎌田校長提供)

別冊太陽 石見銀山 世界史に刻まれた日本の産業遺跡～石見銀山に関する図書紹介⑥

〈田中琢監修 平凡社 平成19年(2007)刊行〉

石見銀山遺跡の世界遺産登録直後に刊行された。石見銀山の全体像を余すところなく、わかりやすく解き明かす。地元の第一線の研究者と石見銀山の調査に長年携わった中央の専門家がそれぞれ得意分野を分担執筆している。

美しい写真が多用され、研究書にみられるような硬さは全くない。眺めているだけでも楽しい。入門書として最適で、座右の書として手元に置かれることをお勧めする。図書館にはもちろんあるが、書店でも入手できる。2,400円。



石見銀山課からお知らせ

■DVD『世界遺産 子どもデジタルアーカイブづくり石見銀山』の無料配布

①教材コンテンツの作り方(25分)、②石見銀山の紹介(20分)、③世界遺産の町並みと暮らし(20分)の3本を収録。石見銀山資料館から7枚提供されました。ご希望の学校がありましたらご連絡下さい。

□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□

10/09 石見銀山研修会「効果的な石見銀山学習を推進していくために」

大田市小学校校長会主催。対象は、校長と石見銀山学習の担当者。市内各地域と石見銀山の関連について、市教委石見銀山課中田健一課長補佐が講演。

10/11 川合小学校 6年生12名。世界遺産センターの展示見学後、大久保間歩入坑し、釜屋間歩・岩盤遺構を見学。その後大森の街並み散策。

10/18 五十猛小学校 5・6年生11名。世界遺産センターで講話を聴き、展示を見学。大久保間歩に入坑し、釜屋間歩・岩盤遺構を見学。その後大森の町並み散策。

10/29 長久小学校 6年生33人。世界遺産センターで展示見学、選鉱体験、丁銀づくりをした後、午後大久保間歩に入坑し、さらに釜屋間歩・岩盤遺構を見学。